

至 自		昭 昭		至 自 至 自		昭		年 月 日	略 歴					
		20	19	12	11	11	10			4	4	2		
7	7	7	7	6	5	2	12	11	11	10	4	4	2	<p>独立歩兵第一一大隊略歴</p> <p>通称号 衣第三〇四二部隊</p>
中旬	中旬	上旬	上旬	14	23	29	22	17	11	27	10	1	2	
朝鮮咸鏡南道咸興着。		鮮満国境安東通過。		満支国境山海関通過。		済南出發。		移駐のため済南集結。		動員完結一部を歩兵第三五八連隊に転出。		軍令陸甲第八四号により臨時動員下令。		<p>軍令陸甲第八号により臨時編成下令。</p> <p>編成着手。</p> <p>山東省泰安において編成完結。</p> <p>同日より同地付近の警備。</p> <p>魯中魯南対国共作戦参加。</p> <p>第三次魯東作戦参加。</p> <p>徳県に移駐、同日より同地付近の警備。</p>
										摘 要				

0698

		自 至		自 至			
		10	10	10	10	8	8
		14	7	10	4	3	23
		同日より同地付近の警備ならびに陣地構築。					
		五老里において武装解除。					
		作業大隊編成。					
		興南着。					
		興南出發。					
		入「ソ」(ウラジオストツク)					
大隊長	大尉						
	勢田						
	勝利						

0699

昭	年	月	日	略	歴	摘	要
17		2	2	軍令陸甲第八号により臨時編成下令。 編成着手。			
19		3	3	山東省済南において独立混成第一〇旅団工兵隊を基幹として編成完結。			
20		3	8	同日より同地付近の警備ならびに作戦参加。			
		11	8	河南作戦参加。			
		3	26	秀岑作戦参加。			
		6		移駐のため済南出發。			
		7		満支国境山海関、鮮満国境安東通過。			
		7		朝鮮咸鏡南道咸興着			
		7		同日より同地付近の警備ならびに陣地構築。			
		7		咸興において武装解除。			
		8		作業大隊編成。			
		8		興南出發。			

## 第五九師団工兵隊略歴

通称号 衣第四二九八部隊

0700

1

876の2

至自  
昭  
21

1 10

17 10

隊長 少佐 桑原

実

入「ソ」  
（「ウラジオストック」  
「ソフガワニ」）等。

0701

至自		至自		至自		至自		至自		昭		昭		年 月 日	略 歴	第五九師団通信隊略歴	通称号 衣第四二九九部隊	
昭	21	昭	21	昭	21	昭	21	昭	20	昭	19	昭	2					
1	9	8	8	8	7	7	7	7	7	5	11	8	4	3	2			
13	23	26	24	21	下旬	中旬	下旬	上旬	中旬	上旬			8	26	2			
<p>軍令陸甲第八号により臨時編成下令。 編成着手。</p> <p>済南において独立混成第一〇旅団通信隊を基幹として編成完結。 同日より同地付近の警備ならびに通信作業。</p> <p>山東作戦参加。</p> <p>秀岑作戦参加。</p> <p>移駐のため済南出発。</p> <p>満支国境山海関、鮮濰国境安東通過。</p> <p>朝鮮咸鏡南道咸興着。</p> <p>爾後同地付近の警備ならびに通信作業。</p> <p>咸興において武装解除。</p> <p>興上里に収容され作業大隊編成。</p> <p>興南港出発。</p>															摘 要			

0702

	至自 昭 21
	1 9
	14 27
	入「ソ」(「ウラジオストク」「ボセツト」等)
隊長 少佐 小池 忠太郎	

0703



		至自		至自	
		12	12	10	9
		9	9	9	8
		31	23	2	26
		23	10	2	28
同日咸興に移動。					
興南に集結。					
作業大隊編成。					
主力興南港出發。					
主力入「ソ」(「ウラジオストック」「ボセツト」等。					
一部興南港出發。					
一部入「ソ」(「ウラジオストック」)					
隊長 大尉 芳信雅之					

0705





至自	至自	至自	至自	至自	至自
11	9	10	9	10	9
2	27	29	23	上下旬	8
					23
					7 7
					26 14
<p>朝鮮咸鏡南道咸興着。 爾後同地付近の警備および陣地構築。 咸興、本官等にて武装解除。 作業大隊編成。 興南に移動。 興南港出發。 入「ソ」（ウラジオストック）「ボセット」等。</p>					
<p>隊長 少佐 野口 政喜</p>					

0707

至自		至自		至自		至自		至自		至自		昭		
						昭 20				昭 19		17		
7	7	7	7	7	7	7	2	9	8	7	3	4	3	2
下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	上旬	3	1	12	12	末	29	6	26	2
<p>同日より同地において病院勤務。</p> <p>朝鮮咸鏡南道咸興着。</p> <p>滿支国境山海関、鮮滿国境安東通過。</p> <p>移駐のため泰安出發。</p> <p>第二次河南作戦参加。</p> <p>衣剝支第一一号山東作戦参加。</p> <p>第一次河南作戦参加。</p> <p>同日より山東省泰安付近において病院勤務。</p> <p>独立混成第一〇旅団を基幹として編成完結。</p> <p>編成着手。</p> <p>軍令陸甲第八号により臨時編成下令。</p>														
<p>第五九師団野戦病院略歴</p> <p>通称号 衣第三三一一部隊</p> <p>略 歴</p> <p>摘要</p>														

0708

		9	9	8
		27	24	20
		<p>威興において武装解除。                  主力興南において作業大隊編成。                  主力興南港出發。                  主力入「ソ」(ウラジオストック)。                  一部は定平、興南等の收容所において医療に従事し昭和二十一年七月上旬頃までに入「ソ」。</p>		
	<p>病院長 軍医少佐 渡 辺 俊 男</p>			

0709

第五九師団病馬廠略歴											
通称号 衣第四二九七部隊											
昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	昭	年 月 日	略 歴
										17	
										18	
										19	
										20	
										21	
										26	
										2	
										3	
										4	
										6	
										10	
										5	
										7	
										7	
										7	
										7	
										18	
										17	
										16	
										12	
										2	軍令陸甲第八号により臨時編成下令。 編成着手。
										8	泰安において独立混成第一〇旅団を基幹として編成完結。
										21	同日より同地において勤務。 同日より同地において勤務。 同日より同地において勤務。 同日より同地において勤務。
										6	萊蕪作戦参加。
										10	魯東作戦参加。
										5	秀岑作戦参加。
										7	移駐のため主力は済南出發。
										7	滿支国境山海関通過。
										7	鮮満国境安東通過。
										7	朝鮮咸鏡南道咸興着。
										18	同日より同地付近の陣地構築。

摘要

0710

	9	9	9	8
	27	24	17	22
廠長 中尉 横山 乾	<p>威興において武装解除。  興南において作業大隊編成。  主力興南港出発。  主力入「ソ」(ウラジオストク)。  一部は同年十一月初旬までに入「ソ」。</p>			

0711

昭 20										年			
10	9	11	10	10	9	8	8	8	8	8	8	7	月
20	13	2	30	24	2	25	20	15	13	9	5	10	日
<p>三合里出發                      下士官兵は三合兵において作業第一一大隊に編入                      入「ソ」(ボセット)                      興南港出發                      將校は將校大隊編入美勒洞出發                      將校は美勒洞に下士官兵は三合里に收容さる。                      同地において武装解除                      平壤に移動                      停戦                      日「ソ」開戦により定平に移動、                      定平に集結完了                      爾後同地付近の警備ならびに陣地構築                      りの召集者を充當して編成完結。                      朝鮮咸鏡北道羅南において第七九師団の差出人員を基幹とし南滿および朝鮮よ                      軍令陸甲第一〇六号により編成下令</p>										略	歴		
摘要													

第一三七師団司令部略歴

通称号 扶翼第三七二四七部隊

0712





昭										年	月	日	略	歴	摘	要
11	9	9	8	8	8	8	8	8	8							
10	3	2	26	25	20	16	15	9	5	10						
<p>通称号 扶翼第三七二三八部隊</p> <p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令                  朝鮮咸鏡北道羅南において歩兵第二八九連隊の差出人員を基幹とし南滿および                  朝鮮よりの召集者を充当して編成完結。                  爾後同地付近において陣地構築                  日「ソ」開戦により定平に移動同地西方万年山付近において陣地構築作業                  停戦                  停戦命令により定平に集結朝鮮出身兵を召集解除                  平壤に移動                  現地応召者の多くは解散                  同地において武装解除                  将校は姜勅洞に下士官兵は三合里に収容さる。                  爾後将校は司令部将校と同行動                  下士官兵は作業第八大隊に編入                  三合里出發</p>																

0714

	12
	24
	興南港出發入「ソ」 連隊長 大佐 竹林 凡夫

0715

										昭 20	年		
										8	7	月	
										10	5	10	日
9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	月	
10	2	26	20	18	16	15		11		5	10	日	
<p>通称号 扶翼第三七二三九部隊</p> <p>歩兵第三七五連隊略歴</p> <p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令</p> <p>朝鮮咸鏡北道会寧において歩兵第二九〇連隊の差出人員を基幹とし南満および朝鮮よりの召集者を充当して編成完結</p> <p>爾後同地付近の陣地構築</p> <p>会寧出發定平に移動</p> <p>同地付近において陣地構築作業</p> <p>停戦</p> <p>朝鮮出身兵を召集解除</p> <p>定平出發</p> <p>平壤着</p> <p>同地において武装解除。現地応召者の多くは解散</p> <p>契校は美勒洞に下士官兵は三合里に収容さる。</p> <p>爾後將校は司令部將校と同行動</p> <p>下士官兵の主力は作業第九大隊に一部は作業第一一大隊に編入</p>													
												略	歴
												摘	要

0716

884の2

至自 昭 21	至自	至自
6 1	1010	1010
5 11	2624	2620
連隊長 大佐 船 木 健 次 郎	興 南 港 出 発、 入「ソ」	興 南 着  三 合 里 出 発

0717

885										昭 20	年	
9	9	8	8	8	8	8	8	8	7	8	7	月
9	2	20	23	21	16	15	12	5	10	5	10	日
<p>下士官兵は作業第一〇大隊に編入</p> <p>爾後將校は司令部將校と同行動</p> <p>將校は美勒洞に、下士官兵は三合里に収容さる。</p> <p>同地において武装解除。 現地応召者の多くは解散</p> <p>平壤着</p> <p>定平出發</p> <p>朝鮮出身兵召集解除</p> <p>停戦</p> <p>同地付近において陣地構築作業</p> <p>日「ソ」開戦により羅南出發定平に移動</p> <p>爾後同地付近の陣地構築。</p> <p>朝鮮よりの召集者を充当して編成完結。</p> <p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令</p>										<p>通称号 扶翼第三七二四〇部隊</p> <p>歩兵第三七六連隊略歴</p>		
										略		
										歴		
										摘要		

0718

	12	12	10
	27	24	23
	入「ソ」	興南港出発	三合里出発
	連隊長		
	大佐		
	林		
	信		
	行		

0719

										昭 20	年
10	9	9	8	8	8	8	8	8	8	7	月
28	末	28	19	16	15	11	5	10			日
<p>三合里出發</p> <p>下士官兵は作業第一二大隊に編入</p> <p>爾後將校は司令部將校と同行動</p> <p>將校は美勒洞に下士官兵は三合里に收容さる。</p> <p>同地において武装解除。 現地応召者の多くは解散</p> <p>平壤に移動</p> <p>朝鮮出身兵召集解除</p> <p>停戦</p> <p>同地付近において陣地構築作業</p> <p>日「ソ」開戦により定平に移動</p> <p>爾後同地付近の陣地構築。</p> <p>鮮よりの召集者を充当して編成完結</p> <p>軍令陸甲方一〇六号により編成下令</p>										<p>第一三七師団挺進大隊略歴</p> <p>通称号 扶翼第三七二四部隊</p>	
										略	歴
										摘	要

0720





									昭	年
									20	
10	9	9	8	8	8	8	8	7	月	
20	13	1	24	19	15	11	5	10	日	
<p>三合里出発 下士官兵は作業第一一大隊に編入 爾後將校は司令部將校と同行動 將校は美勸洞に下士官兵は三合里に収容さる。 現地応召者の多くは解散 同地において武装解除 平壤に移動 停戦 同地付近において陣地構築 日「ソ」開戦により定平に移動 爾後同地付近の陣地構築 朝鮮よりの召集者を充当して編成完結。 軍令陸甲第一〇六号により編成下令 朝鮮咸鏡北道羅南において山砲兵第七九連隊の差出人員を基幹とし南滿および</p>									略	
									歴	
									摘要	

野砲兵第一三七連隊略歴  
通称号 扶翼第三七二四三部隊

8.87の2

	至自 昭 21
	610 10
	527 下旬
	興南港 興南着 出發入「ソ」 連隊長 少佐 大津山勝二

0723

							昭	年	
							20		
10	9	9	8	8	8	8	7	月	
下旬	5	1	20	23	15	11	5	10	日
<p>一部の者は興南に移動</p> <p>下士官兵は三合里において作業大隊編入</p> <p>爾後將校は司令部將校と同行動</p> <p>將校は美勒洞に下士官兵は三合里に收容さる。</p> <p>現地応召者の多くは解散</p> <p>同地において武装解除</p> <p>平壤着</p> <p>停戦</p> <p>同地付近において陣地構築</p> <p>日「ソ」開戦により同地出發定平に移動</p> <p>爾後同地付近の陣地構築</p> <p>朝鮮よりの召集者を充当して編成完結。</p> <p>朝鮮咸鏡北道会寧において工兵第七九連隊の差出人員を基幹とし、南滿および</p> <p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令</p>							略	歴	
							略	歴	
							摘	要	

工兵第一三七連隊略歴

通称号 扶翼第三七二四四部隊

略 歴

摘 要

					昭 21
		6	6	5	1 1
		9	6	4	下旬 中旬
	入「ソ」	興南港出発	興南鈴木作業大隊に編入（長大尉 鈴木和夫）	興南着	主力三合里出発
	連隊長				
	少佐				
	岳村				
	証				

0725

										昭 20	年	
9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	7	月	
5	1	26	20	18	15	12	10			5	日	
<p>下士官兵は作業大隊編入</p> <p>爾後將校は司令部將校と同行動</p> <p>將校は美勒洞に下士官兵は三合里に収容さる。</p> <p>現地応召者の多くは解散</p> <p>平地において武装解除</p> <p>平地に着</p> <p>平地に着</p> <p>定平出發</p> <p>停戦</p> <p>定平着。同地付近の陣地構築。</p> <p>日「ソ」開戦により同地出發</p> <p>爾後同地付近の陣地構築</p> <p>朝鮮よりの召集者を充当して編成完結</p> <p>朝鮮咸鏡北道羅南において輜重兵第七九連隊の差出人員を基幹とし南滿および</p> <p>軍令陸甲第一〇六号により編成完結</p>										略	略	
<p>通称号 扶翼第三七二四五部隊</p> <p>輜重兵第一三七連隊略歴</p>												
											歴	摘要

0726

					昭 21
				6 6 5 1 1	
				9 6 4 下旬 中旬	
				興南港出發 興南鈴木作業大隊に編入(長、大尉鈴木和夫) 興南着	三合里出發
				入「ソ」	
				連隊長 少佐 立間 至	

0727

昭							年	月	日	略	歴	摘要
20												
9	9	8	8	8	8	8						
5	1	25	21	15	13	11	5	10				
<p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令  朝鮮咸鏡北道羅南において第七九師団通信隊の差出人員を基幹とし南滿、朝鮮  よりの召集者を充当して編成完結。  爾後同地において通信業務に従事  日「ソ」開戦より羅南出発  定平着  同地付近の通信網の設置ならびに陣地構築  停戦  平壤に集結  同地において武装解除  現地応召者の多くは解散  将校は美勒洞に下士官兵は三合里に收容さる。  爾後將校は司令部將校と同行動  下士官兵は作業第一二大隊に編入</p>												

0728

890の2

	昭			
	21			
	6	6	11	10
	7	5	3	25
	入「ソ」	興南港出発	興南着	三合里出発
	隊長			
	大尉			
	小			
	原			
	藏			

0729



								昭 20	年
0	9	8	8	8	8	8	7	月	
18	4	20	22	19	15	11	5	日	
<p>通称号 扶翼第三七二四七部隊</p> <p>第一三七師団兵器勤務隊略歴</p>								略	<p>軍令陸甲南一〇六号により編成下令</p> <p>朝鮮咸鏡北道羅南において第七九師団兵器勤務隊差出人員を基幹とし在滿召集者を充当して編成完結。</p> <p>爾後同地において兵器勤務に従事</p> <p>日「ソ」開戦により定平に移動</p> <p>同地付近において陣地構築</p> <p>停戦</p> <p>定平出發</p> <p>平壤着</p> <p>平壤秋乙において武装解除</p> <p>現地応召者の多くは解散</p> <p>將校は美勒洞に下士官兵は三合里に収容さる。</p> <p>爾後將校は司令部將校と同行勦</p> <p>下士官兵は作業第一一大隊に編入</p>
									歴
								摘	要

0730

89102

至自 昭昭 2120	至自 昭昭 2120	至自 昭昭 2120
7 6	6 10	6 9
18 5	30 上旬	23 30
隊長 大尉 宮 田 鹿之助	興南港 出發入「ソ」	興南着 この間 遂次三合里 出發

0731

892									
昭和20年									
7月									
10日									
9	9	8	8	8	8	8	8	8	7
13	8	26	23	18	15	11	9	5	10
<p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令  朝鮮咸鏡北道羅南において第七九師団病馬廠の差出人員を基幹とし在満召集者を充当して編成完結。爾後同地において病馬の收容、療養等に従事  日「ソ」開戦  定平に移動  同地付近の陣地構築  停戦  定平出発  平壤着  同地において武装解除  現地応召者の多くは解散  将校は美勅洞に、下士官兵は三合里に收容さる。  爾後将校は司令部将校と同行動  下士官兵は作業第一大隊に編入</p>									
略									
歴									
摘要									

第一三七師団病馬廠略歴

通称号 扶翼第三七二五一部隊

略

歴

摘要

			昭
			21
		6 6 10 10	
		7 5 26 23	
	入「ソ」	興南港出発	興南着
	廠長		三合里出發
	獸大尉		
	西沢澄男		

0733

昭和		年		月		日		略		歴		摘要		
12	10	9	9	8	8	8	8	7	7	<p>通称号 福寿第三七五三四部隊</p> <p>独立混成第一三三旅団司令部略歴</p> <p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令。</p> <p>第四四軍よりの基幹要員と在満応召者をもつて吉林省四平において編成完結。</p> <p>旅団は朝鮮元山地区警備のため転進準備中。</p> <p>八月九日日「ソ」開戦にともない新京地区の防衛を命ぜらる。</p> <p>新京着、南岑地区の防衛に従事。</p> <p>停戦。</p> <p>新京出発。</p> <p>吉林省公主岑着。</p> <p>同地において武装解除。</p> <p>同地において作業第三大隊編入。</p> <p>公主岑出発。</p> <p>黒河出発入「ソ」。</p>			<p>旅団長 少将 原田繁吉</p>	
5	6	3		23	19	15	12	31	10					

0734

昭和20年		略		歴		摘要	
年	月	日	略	歴	摘要	略	摘要
7	7	10	軍令陸甲第一〇六号により編成下令。				
7	7	31	第一一九師団、第一二六師団等よりの基幹要員と在満応召者をもつて吉林省四平において編成完結。				
8	8	9	朝鮮転進準備中日「ソ」開戦となり四平出發。				
8	8	11	新京着、陣地構築中終戦となる。				
8	8	17	在満応召者召集解除。				
8	8	19	新京出發。				
8	8	21	吉林省公主峯着。				
8	8	25	同地において武装解除。				
10	10	5	公主嶺作華第三大隊編入。				
10	10	6	公主峯出發。				
12	12	5	黒河經由入「ソ」。				
		大隊長 大尉 石田 鉄治					

## 独立歩兵第七八七大隊略歴

通称号 福寿第三七五三五部隊

0735

独立歩兵第七八八大隊略歴											
通称号 福寿第三七五三六部隊											
昭	20	年	月	日	略歴						
7	7										軍令陸甲第一〇六号により編成下令。 第一一七師団、第一二六師団よりの基幹要員と在満応召者をもつて吉林省四平 において編成完結。 朝鮮転進準備中日「ソ」開戦により新京防衛のため四平出発。 新京着、陣地構築中終戦となる。 在満応召者約一四〇名を召集解除。 新京出発。 吉林省四平着。 同地において武装解除。 公主岑において作業第三大隊編入。 公主岑出発。 黒河經由入「ソ」。
7	10										
7	31										
8	11										
8	13										
8	17										
8	19										
8	21										
8	25										
10	3										
10	10										
10	10										
12	5										
12	5										
12	12										
大隊長 大尉 苦米地 諫次郎											
摘要											

0736

独立歩兵第七八九大隊略歴									
通称号 福壽 <sup>考</sup> 第三七五三七部隊									
昭	略歴								
20	年								
7	7	9	9	8	8	8	8	8	7
10	31	11	12	18	21	26	15	22	26
日	日								
	軍令陸甲第一〇六号により編成下令。								
	第一二六師団よりの基幹要員と在満応召者をもつて吉林省四平において編成 完結。								
	部隊は朝鮮転進準備中日「ソ」開戦により新京防衛のため四平出發。								
	新京着、陣地構築中終戦となる。								
	新京出發。								
	吉林省陶家屯において武装解除。								
	吉林省公主峯着。								
	この間在満応召者の一部召集解除。								
	公主峯において作業第四大隊編入。								
	公主峯出發。								
	黒河経由入「ソ」。								
	大隊長 大尉 加藤 光								
	摘要								

0737



昭和20年		年月日		略歴		摘要		
10	9	8	8	8	8	7	7	<p>独立歩兵第七九〇大隊略歴</p> <p>通称号 福寿第三七五三八部隊</p>
26	中旬	下旬	19	18	12	11	31	
<p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令。</p> <p>第一一九師団、第一二三師団等よりの基幹要員と在満応召者をもつて吉林省四平において編成完結。</p> <p>部隊は朝鮮転進準備中日「ソ」開戦により新京防衛のため四平出發。</p> <p>新京着、南岑付近において陣地構築中終戦となる。</p> <p>新京出發。</p> <p>吉林省公主岑着。</p> <p>同地において武装解除。</p> <p>この間在満応召者の一部召集解除。</p> <p>同地において作業第四大隊編入。</p> <p>黒河經由入「ソ」。</p>								
<p>大隊長 大尉 永田英夫</p>								

0738

昭和20年		略	歴	摺							
年	月										
7	7	10	31	11	8	8	8	8	9	9	10
		10	11	12	18	21	25	22	23	26	
<p>通称号 福寿第三七五三九部隊</p> <p>独立混成第一三三旅団挺進大隊略歴</p> <p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令。</p> <p>第一一七師団、第一一九師団等よりの基幹要員と在満応召者をもつて吉林省四平において編成完結。</p> <p>部隊は朝鮮転進準備中日「ソ」開戦により新京防衛のため四平出発。</p> <p>新京着、南岑付近において陣地構築中終戦となる。</p> <p>新京出発。</p> <p>吉林省公主岑着。</p> <p>同地において武装解除。</p> <p>この間在満応召者の一部召集解除。</p> <p>公主岑において作業第四大隊編入。</p> <p>公主岑出発。</p> <p>黒河經由入「ソ」。</p> <p>大隊長 大尉 木戸常男</p>											

0739

		昭 20		年 月 日		略 歴		摘 要			
		10	9	9	8	8	8	8	8	7	7
		26	23	22	25	21	18	12	10	31	10
隊長 中尉 小池 房 雄		<p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令。                      第一二二師団、第一二三師団、第一二七師団等よりの基幹要員と在満応召者を                      もつて吉林省四平において編成完結。                      部隊は朝鮮転進準備中日「ソ」開戦により新京防衛のため四平出發。                      新京着南岑付近において陣地構築中終戦となる。                      新京出發。                      吉林省公主岑着。                      同地において武装解除。                      この間在満応召者の一部召集解除。                      公主岑において作業第四大隊編入。                      公主岑出發。                      黒河經由入「ソ」。</p>									

独立混成第一三三旅団砲兵隊略歴

通称号 福寿第三七五四〇部隊

0740

昭		年		略		歴		摘	
20		月		略		歴		要	
7		日		略		歴		要	
1	9	9	8	8	8	8	7	7	
26	23	22	下旬	18	12	11	31	10	
<p>通称号 福寿第三七五四一部隊</p> <p>独立混成第一三三旅団工兵隊略歴</p> <p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令。</p> <p>第一二六師団よりの基幹要員と在満応召者をもつて吉林省四平において編成 完結。</p> <p>部隊は朝鮮転進準備中日「ソ」開戦により新京防衛のため四平出發。</p> <p>新京着南岑付近において陣地構築中終戦となる。</p> <p>新京出發吉林省公主岑着。</p> <p>同地において武装解除。</p> <p>この間在満応召者の一部召集解除。</p> <p>同地において公主嶺作業第四大隊編入。</p> <p>公主岑出發。</p> <p>黒河經由入「ソ」。</p> <p>隊長 大尉 太田虎一</p>									
								摘	要

0741

昭和20年		略	歴	摘要								
年	月日											
7	7	10	30	13	8	8	8	8	9	10	12	
<p>通称号 福寿第三七五四二部隊</p> <p>独立混成第一三三旅団通信隊略歴</p> <p>軍令陸甲第一〇六号により編成下令。</p> <p>第一一七師団よりの基幹要員と在満応召者をもつて吉林省四平において編成完結。</p> <p>部隊は朝鮮転進準備中日「ソ」開戦により新京防衛のため、新京着、開拓局において通信任務に従事。</p> <p>新京出發。</p> <p>吉林省公主峯着。</p> <p>同地において武装解除。</p> <p>この間在満応召者の一部召集解除。</p> <p>公主嶺作業大隊編入。</p> <p>公主峯出發。</p> <p>黒河經由入「ソ」。</p> <p>隊長 中尉 大 濃 輝 芳</p>												

0742

		昭 20		年 月 日		略 歴		摘 要				
		12	10	10		8	8	8	8	7	7	独立混成第一三三旅団輜重隊略歴 通称号 福寿第三七五四三部隊
		5	6	5	5	25	20	18	13	31	10	
隊長 大尉 佐藤 実兼		軍令陸甲第一〇六号により編成下令。 第一一七師団よりの基幹要員と在満応召者をもつて吉林省四平において編成 完結。 部隊は朝鮮転進準備中日「ソ」開戦により新京防衛のため四平出發。 新京着、建国大学にて防衛中終戦となる。 新京出發。 吉林省公主岑着。 公主岑において武装解除。 この間在満応召者の一部召集解除。 公主嶺作業第三大隊編入。 公主岑出發。 黒河經由入「ソ」。										

0743